2026年11月25日

ポジティブインパクトファイナンスをご利用いただいた事業者さまの サステナビリティ経営実現に向けたお取組み状況 (モニタリング結果の開示)

十六銀行　ソリューション営業部
十六総合研究所　コンサルティング部



モニタリングを実施した 13 事業者さまの各 KPI に関連する 17 のゴールの総数

のうち、達成・順調に進捗している各 KPI に関連する 17 のゴールの総数

当行のポジティブインパクトファイナンスは、2022 年３月の取扱い開始以降、2026年９月末時点で 146 先の事業者さまにご利用いただきました。

十六銀行・十六総合研究所が作成した評価書につきましては、従来の財務諸表による定量面の分析のみならず、事業者さまの経営資源やサプライチェーンとの関係など定性面も詳しく分析することで、事業者さまのインパクトを丁寧に特定するよう努めてまいりました。このため、ご利用いただいた事業者さまからは、サステナブル経営の実現に向けた自社の現状を把握するための良い機会となったとお言葉をいただいております。

また、事業者さまと対話のうえ策定した KPI は、本業(事業者さまのお取扱いする商品・サービス)、環境問題、従業員さまの働きがいなど、幅広いテーマから設定しております。

なお、2025 年７月以降にモニタリングを実施した企業さまにつきましては、本左下のレーダチャートのとおり、KPI 達成に向けて順調に取り組み始めていることを確認のうえ(※詳細は次頁以降をご覧ください)、必要に応じて、ビジネスマッチングなど KPI 達成に資するソリューションを提案しております。

今後、KPI を達成した事業者さまや、新たにポジティブインパクトファイナンスをご利用いただく事業者さまに対して、追加的なインパクトを創出する KPI 設定の重要性を啓蒙するともに、この達成に向けた継続的支援を通じて、事業者さまと共通価値の創造をはかり、持続的な成長を目指してまいります。

■モニタリングを実施した事業者さまのKPI進捗状況

株式会社アーリーバード

	KPI	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期
①	２０３０年における紙使用量を２０２２年比で２０%削減する。	10%削減	12%削減			
②	ＬＥＤ照明など、環境に配慮した住環境の設備を提供する（毎年の取組みの開示）。	中古賃貸物件を購入のうえ、外壁塗装、屋根修繕、共用部照明器具のＬＥＤ化を実施	中古賃貸物件を購入のうえ、外壁塗装、屋根修繕、共用部照明器具のＬＥＤ化を実施			
③	２０３０年までに売上高２００百万円以上とする。	90百万円	75百万円			
④	２０２３年から２０３０年までに累計６０件以上の不動産売買を手掛ける。	８件	14件			
⑤	２０２３年から２０３０年までに顧客からの相談件数１５０件以上とする。	30件	60件			
⑥	２０３０年まで従業員の残業時間ゼロを維持する。	残業時間ゼロを維持	残業時間ゼロを維持			

株式会社朝日土質設計コンサルタント

	KPI	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期
①	太陽光パネルによる発電量年間１５，０００ｋｗ以上を維持	維持	維持	維持		
②	２０３０年におけるエコカーの導入率１００％	70%程度	70%程度	70%程度		
③	魚道点検ボランティアへの継続的な参加	実施	実施	実施		
④	防災に関連する公共工事を年間５０件受注	50件超の受注を維持	50件超の受注を維持	50件超の受注を維持		
⑤	所属協会を通じた防災セミナーを年３回実施	実施	実施	実施		
⑥	地公体との連携数年間１００件の達成	達成	達成	達成		
⑦	災害応援協定の参加継続	実施	実施	実施		
⑧	産前産後休業取得率１００％	達成	達成	達成		
⑨	定年後再雇用制度利用率１００％	現状対象者なし	現状対象者なし	現状対象者なし		
⑩	ぎふ建設人材育成企業（ゴールドランク）の認定継続	認定継続中	認定継続中	認定継続中		
⑪	資格取得者数の公表	実施	実施	実施		

株式会社 AVANTIA

	KPI	2023年８月期	2024年８月期	2025年８月期	2026年８月期	2027年８月期
①	・ＡＶＡＮＴＩＡ単体での2030年の建売住宅販売比率80%	97.8%	95.0%	95.6%		
②	・植栽を活用し、街並みを意識したデザインを強化する取組みの継続	取組みを継続中	取組みを継続中	取組みを継続中		
③	・2030年における節水節湯設備の設置率（対住宅供数）100% ・２０３０年におけるエネルギー高効率設備の設置率（対住宅供給数）１００%	100%	100%	100%		
④	・2025年の低炭素住宅の認定基準の省エネ基準と同等以上の断熱性能確保と、省エネ基準に比べて一次エネルギー消費量がマイナス20%以上の基準を満たした住宅 AVANTIA01の供給100%	89.9%	100%	100%		
⑤	・ 建築物省エネルギー性能表示制度（ＢＥＬＳマーク）の取得 ・ 全邸構造計算の実施 ・ 耐熱、耐震性能を１邸ずつ計算	BELS 85.3%	100%	100%		
⑥	・２０３０における売上高あたりのScope1,2排出量を25%削減（2021年比） ・ ＳＢＴ目標を設定している企業をサプライヤーとして選定することにより、Ｓｃｏｐ	Scope1.2 14.7% 太陽光33% Scope3対応をはじめる	Scope1.2 23.0% 太陽光39.5%	Scope 1.2削減率:37.3% 太陽光パネル搭載供給率:78.0%		

	ｅ３削減に取り組む ・ ２０３０年における太陽光パネル等を搭載した住宅の供給率 50%					
⑦	単体で AVANTIA01 の標準化 100% ・ ＡＶＡＮＴＩＡグループ全体２０３０年における戸建住宅の取扱件数２，０００棟（売上高１，０００億円）	AVANTIA01 89.9%	AVANTIA01 100%	AVANTIA01 仕様 100% ZEH 水準以上の		
⑧	・夜間照明を活用した防犯性能とデザイン性を両立した住宅コミュニティづくりの取組みの継続	夜間照明を標準装備	夜間照明を標準装備	夜間照明を標準装備		
⑨	・外皮平均熱貫流率に関して「省エネ基準ＵＡ値 0.87 以下」より厳格な「ZEH 基準 UA 値 0.6 以下」を満たした住宅の供給 100%	89.8%	100%	100%		
⑩	・環境性能（ヒートアイランド対策）とデザイン性能を両立した舗装の推進を行う取組みの継続	他区画の分譲地で実施済	他区画の分譲地で実施済、1~3 棟物件で一部思考済	一部施工済		
⑪	・ 2023 年における管理者向け研修実施率 100% ・ 以降も毎年実施率を維持	実施	幹部候補者対象研修実施（全６回） グループ会社を含めた管理職向け研修実施（全６回）	中級管理職研修４回 上級管理職研修２回 全６回の管理職研修を実施		
⑫	・ 2025 年における女性管理職比率 20%以	7.4%	13.5%	7.3%		

	上					
⑬	・重大労災発生件数毎年０件	０件(関連会社にて１件)	０件	０件		
⑭	・腐敗に関連した罰金・課徴金・和解金等の発生件数毎年０件	０件	０件	０件		

アルード株式会社

	KPI	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期
①	２０３０年までに営業車（作業車除く）におけるエコカー導入比率を８０%とする。	80.95%	80.95%			
②	廃棄物処理における法令違反０件。	０件	０件			
③	２０３０年における売上高を２５億円とする。	21.4億円	23.7億円			
④	２０３０年まで労働生産性の毎年上昇を目指す。	6.07	▲131.08			
⑤	重大労働災害（死亡労働災害）０件。	０件	０件			

株式会社インディ・アソシエイツ

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	２０３０年における紙購入量を２０２１年度比１０%削減する。	22%増	32%増			
②	２０３０年までに営業企画部の売上高を１５億円以上とする。	6.5億円	11.7億円			
③	2030年までに遠隔操作ロボット「MORK（モーク）」シリーズの累計販売台数を5,000台以上とする。	-	10台			
④	新たな付加価値を持つ新サービス・新商品の開発に引き続き取り組む。	駐車場の高級車盗難防止AIセキュリティシステムの開発に着手。商品化を目指す	駐車場の高級車盗難防止AIセキュリティシステムを羽田空港にて運用開始。引き続き一般商品化を目指す			
⑤	ギャンブル依存症に対する注意喚起などの内容を盛り込んだ映像コンテンツ制作に、引き続き取り組む。	協会で定めている注意喚起の表示をすべてのコンテンツに搭載させる取り組みを実施。	協会で定めている注意喚起の表示をすべてのコンテンツに搭載させる取り組みを実施。			
⑥	利用者の健康被害を抑制する映像コンテンツ制作に、引き続き取り組む。	過度な光の表現や点滅の抑制に加え、犯罪を誘	過度な光の表現や点滅の抑制に加え、犯罪を誘			

		発させる表現の自己規制にも引き続き取り組む。	発させる表現の自己規制にも引き続き取り組む。			
⑦	休暇制度の整備など福利厚生の拡充に引き続き取り組む。	-	-			
⑧	OJT 制度の維持など社内研修制度の整備に引き続き取り組む。	OJT による 社内研修を実施。	OJT による 社内研修を実施。			
⑨	部署毎での人事評価など社内評価制度の整備に引き続き取り組む。	開発部で前年度に策定した人事評価制度をさらに見直し。 制作部では新しい評価制度を2025 年度開始目標で策定開始	制作部にて新しい評価制度の運用開始			

株式会社ウイング

	KPI	2025年６月期	2026年６月期	2027年６月期	2028年６月期	2029年６月期
①	２０３０年６月期における売上高を１０億円とする。 （２０２３年６月期実績：６億円）	7.5 億円				
②	２０２７年６月期までに本社事務所の照明をすべてＬＥＤ照明に入れ替える。 （以降については改めて目標を設定する。）	LED 照明の入れ替え完了				
③	２０２７年６月期までに本社事務所の複合機をすべて省エネ対応のもの（国際エネルギースタープログラム認定を受けたもの）に切り替える。 （以降については改めて目標を設定する。）	複合機も切り替え済み				

株式会社エスディーエス

	KPI	2025年12月期	2026年12月期	2027年12月期	2028年12月期	2029年12月期
①	２０３０年１２月期における売上高を２０億円以上とする。 （２０２３年１２月期実績：１５．５億円）	1,563百万円				
②	２０２６年１２月期における公共工事落札額を１億円以上とする。 （２０２３年１２月期実績：０．３億円）	119百万円				
③	本社ビル・倉庫における電気使用量を毎年前年比３．７%以上ずつ低減させていく。 （２０２３年１２月期実績：７５，６９１ｋＷｈ）	71,597kWh				
④	２０３０年１２月期における有給休暇取得率を６５%以上とする。 （２０２３年１２月期実績：２７．８%）	48%				
⑤	会員制の人間ドック・健康サポートを年間３名ずつ、毎年異なる従業員へ継続的に提供する。	３名実施				
⑥	２０２４年度中に民間保険会社が実施する従業員向けの健康増進プログラムを新たに導入し、２０２５年度以降は同プログラムの毎年の利用者１００%を目指していく。	100%を達成				

株式会社 NSK

	KPI	2024 年２月期	2025 年２月期	2026 年２月期	2027 年２月期	2028 年２月期
①	・年に１回、社会課題解決に資する商品・サービスのパッケージ 化を行い、HP にて報告する。	新商品はすべて社会課題解決に資するものとなっている。	建築ソリューションのモビティボックスの発売 FAQ　NSK サポートサービスの開始	サポートサービスの充実（FAQ ページ） https://faq.n-sk.jp/		
②	・２０２３年度より電気使用量の計測を開始し、２０２４年以降 　は電気使用量を前年比２．５%削減する。 ・２０２３年度より紙使用量の計測を開始し、２０２４年以降は紙使用量を前年比１０%削減する。 ・２０２３年度中に自社の商品物流拠点を岐阜工場へ一元化し、物流の効率化を図る。	電気使用量は記録済み。 紙使用量は集計前。 岐阜工場への一本化は 2025 年度に変更。	コピー用紙の購入量の 10%の削減 岐阜工場への移行準備(2025 年９月以降予定)	電気使用量の目標値は未達成 コピー使用回数の 12%の削減 物流拠点の一元化		
③	・毎年の従業員満足度に関するアンケート結果について、「総合的に満足している」と回答する社員の割合８０%以上を維持する。 ・２０２２年度中にノー残業デーを新設する。 ・希望する社員のスキルアップ研修参加率１００%を維持する。 ・２０２５年までに新たに１名外国人労働者を雇用する。	満足度アンケートは未実施(経営者変わったため) ノー残業デーは水曜日にやっている。 スキルアップ研修参加率１０	アンケート調査の実施と改善案を表彰し、健康増進プロジェクトとして 2025 年度中に実施	福利厚生の充実により満足している社員の割合が増加 外国人労働者２名採用		

		0%は維持している。 外国人労働者はまだ雇用していない。				

株式会社エヌ・テック

	KPI	2025年８月期	2026年８月期	2027年８月期	2028年８月期	2029年８月期
①	２０３３年８月期における年間鉄骨生産量を２，７００ｔとする。 （２０２３年８月期実績：１，４４７ｔ） ※以降の目標は改めて設定する。	2,070t				
②	２０２４年中に温室効果ガス排出量の測定を新規に開始し、毎年の排出量を削減する。	CNN導入し測定を開始				
③	２０２７年８月期を目安に温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、以降は設定目標に沿った削減に努める。	2025年８月期： Scope1 29.85 Scope2 34.52 計64.37				
④	２０２９年度までに２名、２０３１年度までに２名の累計４名を新たに雇用し、計２４名とする。 （２０２４年６月時点：従業員２０名）	2025年８月時点 従業員19名				
⑤	２０２９年度までに従業員一人当たりの残業時間を１０時間／月以内とする。 （２０２３年度実績：約２０時間／月） ※以降の目標は改めて設定する。	2025年８月期 約9.2時間／月				

ＦＧＩホールディングス株式会社

	KPI	2024年６月期	2025年６月期	2026年６月期	2027年６月期	2028年６月期
①	太陽光パネルによる発電量年間３００，０００ｋｗ以上を維持する。	-	294,000KW			
②	２０３０年度までに営業車の１００％をエコカー（ＥＶ車・ＨＶ車）に移行する。	取組中	達成			
③	２０３０年度までに各事業所におけるＬＥＤ導入率１００％を達成する。	取組中	取組中			
④	２０３０年度における社内製造売上高あたりのガス使用量を２０２２年度比で１０％削減する。	達成	達成			
⑤	２０３０年度における社内製造売上高あたりの水使用量を２０２２年度比で１０％削減する。	達成	取組中			
⑥	「名古屋市認定エコ事業所」の認証を維持していく。	認証維持	認証維持			
⑦	ＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステム）の認証を維持していく。	認証維持	認証維持			
⑧	環境配慮型事業の拡充に取り組む。（毎年の実績の開示）	取組中	取組中			
⑨	電池やモーターなどに関連する絶縁塗装加工の売上高を増加させる。（毎年の実績の開示）	-	取組中			

⑩	技術営業部の売上高を増加させる。（毎年の実績の開示）	－	取組中			
⑪	愛知ブランド企業の認証を維持していく。	維持	維持			
⑫	ＩＳＯ９００１（品質マネジメントシステム）の認証を維持していく。	維持	維持			
⑬	２０２３年度における年間休日を１３０日以上とし、以後も年間休日１３０日以上を維持していく。	維持	維持			
⑭	従業員一人当たりの時間外労働時間を年間２４０時間以内とする。	達成	達成			
⑮	２０３０年度までの累積退職者数（※）を７人以内とする。（※）定年退職者を除く。	－	１人			
⑯	２０３０年度における男性の育児休暇取得率を８５％以上とする。	－	100％			
⑰	重大労働災害発生件数０件を維持していく。	０件	０件			

岡孝株式会社

	KPI	2024年８月期	2025年８月期	2026年８月期	2027年８月期	2028年８月期
①	２０３０年までに自己所有物件の４０％にＥＶ車充電ポート用の電線工事を施す。	設置率 2.0%	設置率 11.9%			
②	自己所有物件退去者の放置自転車０件を維持していく。	放置自転車０件。	放置自転車０件。			
③	２０３０年までに「週休三日制」の勤務形態を導入する。	未導入	未導入 有休消化率 100%			

株式会社奥田縫製

	KPI	2025年５月期	2026年５月期	2027年５月期	2028年５月期	2029年５月期
①	２０３０年５月期における売上高を２０億円以上とする。 （２０２３年５月期実績：１３．４億円）	14.1 億円				
②	２０３０年５月期における売上全体に占めるオリジナルブランドの売上比率を１０％以上とする。 （２０２５年より販売開始を予定。）	ー				
③	２０３０年度（２０３０年４月～２０３１年３月末）におけるＳｃｏｐｅ１，２排出量を２０２２年度実績比で４２％削減する。 （２０２２年度実績：１，２１６ｔ－ＣＯ２）	1,170ｔ-CO2				
④	２０３０年度（２０３０年４月～２０３１年３月末）における、国内生産拠点の一人当たり月平均残業時間を１０時間以内とする。 （２０２３年度実績：約２０時間）	約 18 時間				

株式会社奥村製作所

	KPI	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
①	・2027年９月期までに照明器具部門の売上高を250百万円以上とする。（2023年９月期実績：45百万円） ※以降の目標は改めて設定する。	63百万円				
②	・2027年９月期までに照明器具部門の不良率を0.1%以下とし、以降もその数値以下とする。 （2023年９月期実績：1.3%）	不良率0.39%				
③	・2031年９月期までにCO2排出量を2022年９月期比42%削減する。（2022年９月期実績：203.87t-CO2） ※以降の目標は改めて設定する。	ー				
④	・2027年９月期までに紙使用量を2023年９月期比50%以上削減する。（2023年９月期実績：104,422枚） ※以降の目標は改めて設定する。	ー				
⑤	・2026年９月期までに人間ドッグ受診料の	2026年９月				

	補助を開始する。以降は、受診料の補助を行う従業員の対象範囲を拡大することにより、人間ドック受診率を向上させる。	期中に制度を設ける予定				
⑥	・2030 年９月期までに従業員数 46 名以上とする。 （2024 年８月末時点：39 名）	53 名				

加島工業株式会社

	KPI	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期
①	２０３０年までに公共工事を累計２，４００百万円受注する。	当期：320百万円 累計：320百万円	当期：533百万円 累計：854百万円	当期：343百万円 累計：1,198百万円		
②	２０３０年までに、新たに３名の施工管理技士合格を目指す。	０名	０名	０名		
③	一人当たり残業時間を毎年前年比削減する（毎年の取組みの開示）。	KPI新①へ変更				
④	２０３０年までに自社営業用乗用車を１００%エコカー（ＥＶ車・ＨＶ車）にする。	100%（3/3台、HV車）	100%（2/2台、HV車）	100%（1/1台、HV車）		
⑤	産廃関連法規違反数０件を継続する。	０件	０件	０件		
⑥	年１回の寄付活動を継続する。	３団体へ寄付	２団体へ寄付	１団体へ寄付		
⑦	年２回の公共施設の清掃を継続する。	年１回実施	年１回実施	年１回実施		

【モニタリング期間中に新設したKPIの進捗状況について】

	KPI	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期
新①	毎年の労働災害発生件数を０件とする		０件	０件		

株式会社グローバルビジョン

	KPI	2025年７月期	2026年７月期	2027年７月期	2028年７月期	2029年７月期
①	２０３０年度までに紙購入量を２０２３年度比で２０%削減する。	微減				
②	２０３０年度までに営業車の１００%をエコカー（ＥＶ車・ＨＶ車）へ切り替える。	50%切り替え済み				
③	２０２６年度までにＬＥＤ導入率１００%とする。	100%に向け取組中				
④	新規納入取引先・病理検査システムなど医療サービスの向上に資する新規事業の合算を毎年５件以上とする。	２件				
⑤	健康経営優良法人認定を継続して取得する。	継続取得				
⑥	２０２７年度までに従業員に向けた宿泊施設割引制度を整備する。	実施済				
⑦	従業員に向けて情報セキュリティに関するスキル向上のための社内研修を毎年２回以上開催する。	１回開催				

コクスン株式会社

	KPI	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
①	２０３０年までに車両販売と整備全般の不良発生率を５％以内にする。 ※１	-	-	-	３％	
②	２０３０年までに車両販売と整備全般の納車後アンケートによる顧客満足度を４．９点以上（５点満点）にする。 ※2	-	-	-	４．８点	
③	２０３０年までに販売台数の１０％以上を電気自動車にする。	0%	0%	0%	1%	
④	２０３０年までに販売台数の４０％以上をハイブリッド車にする。	0%	2%	7%	11%	
⑤	２０３０年までに社用車を１００％電気自動車あるいはプラグインハイブリット車にする。 ※３	0%	0%	0%	11%	
⑥	２０３０年までに社内外で使用する用紙を２０２２年比で９０％以上削減する。	10%	15%	20%	25%	
⑦	２０３０年までに入金と支払いのキャッシュレス割合を９９％以上にする。	50%	50%	55%	60%	
⑧	２０３０年までに有給休暇消化率を１００％	75%	75%	85%	66%	

	にする。					
⑨	２０３０年までに、２週間以上の連続した有給休暇取得率を１００%にする。	0%	0%	0%	0%	
⑩	２０３０年までに幹部職を除く一般社員の月間平均残業時間を１０時間以内にする。	21.4 時間	17.9 時間	18.8 時間	14.3 時間	
⑪	２０３０年までに２０２２年比で給与水準を１１０%以上増加させる。	100%	101%	98%	120%	
⑫	２０３０年までに幹部職（店長以上）の女性比率を２０%以上にする。	0%	0%	0%	0%	

※１　①「２０３０年までに納車後１か月以内の初期不良発生率を５%以内にする。」を「２０３０年までに車両販売と整備全般の不良発生率を５%以内にする。」へ変更しております。
※２　②「２０３０年までに主要広告媒体のレビュー総合評価点を４．９点以上にする。」を「２０３０年までに車両販売と整備全般の納車後アンケートによる顧客満足度を ４．９点以上（５点満点）にする。」へ変更しております。
※３　⑤「２０３０年までに社用車を１００%電気自動車にする。」を「２０３０年までに社用車を１００%電気自動車あるいはプラグインハイブリット車にする。」へ変更しております。

コムコ株式会社

	KPI	2025年２月期	2026年２月期	2027年２月期	2028年２月期	2029年２月期
①	２０３１年2月期までにグループ連結ベースの売上を２０２４年2月期より２０%拡大する （２０２３年2月期実績：５，３６９百万円）	5,255百万円 （前年比97.8%）				
②	２０２４年度中にＳｃｏｐｅ１およびＳｃｏｐｅ２排出量についてモニタリングを開始するとともに、削減目標を設定する。	電気使用量の削減を実施 削減目標の設定は未済				
③	２０３０年までに有給休暇取得率を９０%とする。 （２０２３年3月実績：７７．１%）	83.5%				

サンスリー株式会社

	KPI	2024年２月期	2025年２月期	2026年２月期	2027年２月期	2028年２月期
①	２０３０年におけるＳｃｏｐｅ１，２の温室効果ガス排出量を、２０１９年比で４６．５％削減する。	-		-		
②	植林活動への寄付を実施する。（毎年の取組みの開示）	未実施	未実施	未実施		
③	２０２５年における環境配慮型素材「ＰＡＮＤＯ」部門の売上高を１００百万円以上とする。	39百万円	40百万円	50百万円		
④	同素材を用いた新商品の開発に引き続き取り組む。（毎年の取組みの開示）	花器、コースター等の 販売	ウッドデッキ、 歯ブラシ、 くし、花器、プランター	ウッドデッキ、 歯ブラシ、 くし、花器、プランター		
⑤	２０２５年までに地域の人材を累計１人以上新規採用する。	新規採用：１名 累計：１名	新規採用：１名 累計：２名	新規採用：１名 累計：３名		
⑥	２０２５年までに外国人技能実習生を累計２人以上新規で受け入れる。	新規採用：２名 累計：２名	新規採用：２名 累計：４名	新規採用：２名 累計：６名		

株式会社サンユー

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	２０３０年までに全営業車をエコカー（ＥＶ車・ＨＶ車）へ切り替える。	1/3台 切り替え済み	1/3台 切り替え済み			
②	２０３０年までに事務所のＬＥＤ導入率１００%とする。	100%	100%			
③	２０３０年までに売上高３００百万円以上を計上する。	374百万円	198百万円			
④	２０３０年までのいずれかの年度において、不動産売買および仲介の取扱件数を単年度累計４０件以上計上する。	25件	15件			
⑤	２０３０年までに、空き家の買取りおよび再販の取扱件数を累計３０件以上計上する。	３件 （累計：３件）	４件 （累計７件）			

株式会社サンリース

	KPI	2025年６月期	2026年６月期	2027年６月期	2028年６月期	2029年６月期
①	省エネ型ウォーターサーバーを毎期３００台以上販売する。 （従来型からの切替えを含む）	400件				
②	２０２８年度までに自社のＬＥＤ導入率１００％とする。	計画段階				
③	２０３０年度までに売上高１２億円以上とする。 （２０２３年6月期8．４億円）	8.4億円				
④	２０２５年度までに災害時における飲料水の無償提供体制に関するマニュアルを策定する。	未着手				
⑤	２０３０年度までに従業員平均の有給休暇取得率を８０％以上とする。	64.8%				
⑥	２０３０年における社員一人当たり時間外労働を２０２３年度比５０％削減する。	4,398.5時間 (同左)				

株式会社篠田製作所

	KPI	2025年５月期	2026年５月期	2027年５月期	2028年５月期	2029年５月期
①	２０３０年５月期における売上高を３０億円以上とする。 （２０２４年５月期実績：２５．９億円）	2025年５月期 19.5億				
②	電気使用量を毎年前年比３．７%以上ずつ低減させていく。 （２０２３年１月～１２月実績：３９７，６５２ｋＷｈ）	2024年１月～１２月 実績： 392,065kWh				
③	２０３０年度（２０３０年４月～２０３１年３月）までに従業員一人当たりの有給取得日数を１８日以上とする。 （２０２３年度実績：１３日）	2024年度： 12.3日				

十六リース株式会社

	KPI	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
①	2028年度までにESGリースを300件実行する	81件 累計：81件	73件 累計：154件	74件 累計：228件		
②	第５次中期経営計画（2024年４月～2027年３月）にメンテナンスリースについての数値目標を盛り込む	検討中	KPI⑥を新設	―		
③	目標：リース終了物件の適切な管理 KPI：法令違反ゼロ	0件	0件	0件		
④	有給休暇の取得率を2026年度までに85%にする	75..7%	74.2%	70.0%		
⑤	本部のテレワーク体制（ノートPCのモバイル化）を2022年度までに65%、 2023年度までに85%、2024年度までに100%にする。	72.8%	90.4%	―		

【モニタリング期間中に新設したKPIの進捗状況について】

	KPI	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
新①	2024年４月～2027年３月におけるメンテナンスリースの獲得件数を累計1,600台以上とする。 （2024年度より計測開始）			269台		
新	毎週水・金曜日および毎月１週間のフレッシ			81.6%		

②	ュアップウィークを早帰り日とし、定時退社を徹底する。（最終退社 18 時 15 分までとし、15 営業部所単位で判定） ⇒毎週 1 回以上の早帰り日の実施率で評価する。 （2024 年度より計測開始）					

医療法人翔樹会

	KPI	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期	2029年３月期
①	在宅医療普及に向けた講演会を定期的（年３０回程度）に開催する。	年30回	年30回程度			
②	２０２６年度中に在宅医療専門医を新たに１名増員する。 （２０２４年２月末実績：１名）	１名	０名			
③	２０３０年３月期を目安として在宅医療に特化した施設（機能強化型在宅療養支援診療所）を新設する。	今後建設を予定	2025年10月にほほえみ在宅クリニック祖父江を開業			
④	診療所、介護施設のエアコンを毎年３台以上省エネ法が定める省エネ基準を満たしたものに切り替える。	４台	３台			
⑤	２０２６年３月期までに管理職男女比と全労働者男女比を近づけるために、女性管理職を６０％以上とする。 （２０２４年２月末実績：全従業員に占める女性の割合７５．７％、全管理職に占める女性管理職の割合５４．６％）	56.3%	41.6%			
⑥	２０３０年３月期までに外国人従業員数を１１名とする。 （２０２４年２月末実績：６名）	８名 2025年６月現在　新たに15名入国手続中	23名 2025年７月ネパール国籍の新入社員13名入社			

進栄工業株式会社

	KPI	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期
①	２０３０年までに、新たに３台の電動フォークリフトを導入する。	１台導入 （累計：１台）	－ （累計：１台）	１台導入 （累計：２台）		
②	２０２３年度の客先流出不良について、２０２２年度比５０％削減を目指す。	前年比±約０％	2022年度年比 29.4％削減	2022年度年比 29.4％削減		
③	２０２６年度までに、新たに２名の外国人技能実習生を受け入れる。	２名受け入れ （累計：２名）	２名受け入れ （累計：４名）	－ （累計：４名）		
④	２０２６年度までに、新たに２名の「技能検定随時３級（金属プレス加工）」の合格者を輩出する。	－ （累計：０名）	－ （累計：０名）	２名 （累計：２名）		
⑤	毎年の重大労働災害（被災者の休業が５日以上となる事故）発生件数０件を目指す。	０件	０件	０件		

真空セラミックス株式会社

	KPI	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期	2029年３月期
①	２０３０年３月期における「水素吸蔵合金溶解用ルツボ」の売上高を２０２３年３月期比で２．５倍とする。 （２０２３年３月期実績：３２．３百万円）	57 百万円				
②	２０３０年３月期における「使用済みルツボ再資源化事業」の売上高を２０２３年３月期比で３０％拡大する。 （２０２３年３月期実績：３．２百万円）	6.5 百万円				
③	Ｓｃｏｐｅ１およびＳｃｏｐｅ２について、２０３０年までに２０２１年比４２．０％削減する。	297.58t				
④	２０２７年３月期を目安として「フレックス勤務制度」を新設する。	社内土壌作り 聞き取り調査を実施				
⑤	２０３０年３月期における「従業員一人当たり時間外労働時間」を年間５０時間以内とする。 （２０２３年３月期実績：７３．５時間／年）	従業員一人当たり時間外労働時間　82.1 時間/年				
⑥	２０３０年３月期における「従業員一人当たり有給休暇取得日数」を１４日以上とする。 （２０２３年３月期実績：５．８日）	従業員一人当たり有給休暇取得日数 5.5 日				

新郊パイプ工業株式会社

	KPI	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期	2027年12月期
①	２０２８年１２月期における「テントフレーム・車止め事業」の売上高を４００百万円以上とする。	180百万円	165百万円	166百万円		
②	２０３０年度におけるＳｃｏｐｅ１，２排出量を２０２１年度比で５０%削減する。	実績 集計中	Scope1 34.136 t-CO2 Scope2 558.75 t-CO2	Scope1 22.194 t-CO2 Scope2 558.75 t-CO2		
③	毎年の労働災害発生件数0件を目指す。	１件	0件	１件		

新世日本金属株式会社

	KPI	2023年８月期	2024年８月期	2025年８月期	2026年８月期	2027年８月期
①	２０３０年におけるＳｃｏｐｅ１，２の温室効果ガス排出量を、２０２０年比で４２%削減する	8%	44%	59%		
②	取り扱う全ての母材に占める、電気炉メーカー製の母材の割合を毎年９０%以上 とする。	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持		
③	２０３０年における紙使用量を２０２２年比で２０%削減する。	-	2022年比削減比率10%	取組中		
④	全供給製品に占める、鉄道・道路などの社会インフラに使用される製品の割合を毎年６０%以上とする。	60%以上を維持	60%以上を維持	60%以上を維持		
⑤	２０３０年における女性従業員の採用比率を３０%以上とする。	25.4%	25.4%	24.2%		
⑥	２０３０年における男性社員の育児休暇取得率を８０%以上とする。	80%	（対象者なし）	100%		
⑦	全従業員の正社員雇用を維持していく。	維持	維持	維持		
⑧	現在の障がい者雇用人数を維持していく。	維持	維持	維持		
⑨	２０２５年までに、「健康経営優良法人」の認定を取得する。	2023 年10月、「清流の国ぎふ健康経営宣言企	「2024年健康経営優良法人」の認定取得	2025年健康経営優良法人の認定取得		

		業」に登録				
⑩	２０３０年における時間外労働時間を２０１９年比で２０%削減する。	取組中	取組中	取組中		
⑪	労災件数０件を毎年維持していく。	３件	０件	１件		
⑫	毎年のインターンシップを引き続き実施する 。	2023 年 12 月 に開催	2024 年５月に 特別支援学校の研修を 10 日間実施	特別支援学校の 2025 年春の研修を受け入れ（10 日間）		

株式会社スザキ工業所

	KPI	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期
①	２０２８年度までに自動車部品以外の商材の売上比率を３３%以上とする（現状２０%）。	20.0%	14.3%			
②	２０３０年度におけるＳｃｏｐｅ１，２を２０２０年度比で４２%削減する。	31%削減	33%削減			
③	２０２３年度中に廃棄する鉄の重量の計測を開始するとともに、鉄廃棄量についての目標設定を行う。	3,211Kg	356Kg			
④	女性の新規雇用を毎年１名ずつ行う（現状７名）。	１名 正社員雇用	７名			
⑤	障がい者雇用数について現状の水準を維持する（現状５名）。	６名	６名			
⑥	従業員の有給休暇取得率（取得有給休暇日数／付与有給休暇日数）１００%を目指す。	100%	100%			

株式会社 sumarch

	KPI	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
①	２０２９年９月期までに営業拠点を２１拠点以上とする。 （２０２３年９月期実績：１５拠点）	１８拠点				
②	２０２９年９月期まで毎年売上高の１０％成長を継続のうえ、売上高１３，８００百万円以上とする。 （２０２３年９月期実績：７，３８６百万円）	２０２５年９月期売上高１０，２４２百万円				
③	販売する新築住宅のうち、ＢＥＬＳによるＺＥＨ基準認証率を２０２９年９月期までに年間９０％以上とし、以後継続していく。 （２０２３年９月期実績：７０％）	９５件中９３件 ９７．８９％				
④	２０２９年９月期までに建築士の有資格者を４０名以上とする。 （２０２３年９月期：２１名）	２０２５年９月期 ３６名				
⑤	２０２９年９月期まで新規採用人数を毎年３０名以上とし、累計採用人数を１５０名以上とする。 （２０２３年９月期実績：年間４０名）	２０２５年９月期実績５０名				

株式会社 DAIEI

	KPI	2024 年４月期	2025 年４月期	2026 年４月期	2027 年４月期	2028 年４月期
①	２０３０年４月期までに営業車の５０％をエコカー（ＥＶ車・ＨＶ車）へ切り替える。	57%	85%			
②	２０３０年４月期における紙使用量を２０２３年４月期比で５０％削減する。	約 5%削減	50%超削減			
③	２０２５年４月期までに売上高２０億円以上とする。 （２０２１年４月期７．８億円、２０２２年４月期９．５億円、２０２３年４月期１３億円）※２０２６年４月期以降の目標は改めて設定	16.5 億円	19.5 億円			
④	２０２５年４月期までに鉄筋工事の受注件数を２０２３年４月期比で４０％以上増加させる。	25.6%増加	45.8%増加			
⑤	重大労働災害発生件数０件を維持する。	０件	０件			
⑥	休暇制度など福利厚生を拡充する（毎年の取組状況を開示する）。	BBQ、忘年会、入社時の歓迎会等の実施	BBQ、忘年会、入社時の歓迎会等の実施			
⑦	２０３０年４月期までに１級技能検定および２級技能検定の取得者を合計１０名以上とする。	１級：１名 ２級：０名	１級：２名 ２級：０名			

【モニタリング期間中に新設したKPIの進捗状況について】

	KPI	2024年４月期	2025年４月期	2026年４月期	2027年４月期	2028年４月期
新①	年間売上高２０億円以上とする。					

太陽紙工株式会社

	KPI	2023年７月期	2024年７月期	2025年７月期	2026年７月期	2027年７月期
①	年間５件以上の新商品を開発する。	１件	２件	２件		
②	２０３０年度における温室効果ガス排出量（Ｓｃｏｐｅ１，２）を２０２２年度実績より４２%削減する。	-	-	-		
③	２０３０年度における全管理職に占める女性管理職の割合を５０%以上とする。	42%	42%	60%		
④	年２回の「環境整備」を継続して実施する。	継続的に実施	継続的に実施	継続的に実施		

大洋荷役株式会社

	KPI	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期
①	２０３０年までに九州地方への輸送を１００%中継輸送にて行う体制を構築する。	ほぼ100%	ほぼ100%			
②	年間２回以上エコドライブ講習会を実施する。	実施済み	実施済み			
③	年間５件以上、外国人実習生のフォークリフト免許取得支援に取り組む。	取組済み	取組済み			

田中社寺株式会社

	KPI	2024年５月期	2025年５月期	2026年５月期	2027年５月期	2028年５月期
①	毎年１２月に全国の国宝・文化財などの屋根清掃活動を行う。	全国44ヶ所の屋根清掃活動を実施	全国40カ所の屋根清掃活動を実施			
②	２０３０年までに新たに５名の技術者を採用する。	０名	2025年４月 新卒男子(高卒) １名 を採用			
③	２０３０年までに新たに２名の女性技術者を採用する。	０名	０名			
④	毎年地域の小学生に向けて職場体験の機会を提供する。	企画段階	企画段階			
⑤	従業員の業務上の事故件数０件を維持していく。	０件	０件			
⑥	年に１回、自社所有山林の間伐作業を行う。	2023年７月に 実施	2024年７月に 実施			

株式会社中央

	KPI	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期
①	２０３０年９月期における売上高９億円を目指す。 （２０２３年９月期実績：６．２億円）	7.3億円	6.5億円			
②	２０３０年における「自動車関連部品・生活製品関連部品」の社内売上シェアを５割以上とする。 （２０２３年９月期実績：約４割）	約４割	約４割			
③	ギャンブル依存症支援団体への寄付活動を新たに始め、継続的に実施するとともに、毎年の「寄付先」と「寄付額」を開示する。	-	-			
④	電気使用量を毎年１％以上ずつ削減する。	電力会社を変更する 対応を実施	ほぼ達成			
⑤	２０３０年までに女性管理職比率（＝女性管理職／社内の全管理職）を５０％とする。 （２０２４年２月末実績：４０％）	40%	33%			
⑥	２０３０年までに新たに女性従業員を２名採用する。 （２０２４年２月末実績：１６名）	17名	17名			

医療法人忠知会

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	２０３０年における紙使用量を２０２１年度比１０%削減する。 (2021 年度 270,000 枚)	7.41%	5.56%			
②	連携している医療機関からの患者受け入れ件数９件／月以上を維持する。	8.9 件／月	9.3 件／月			
③	２０２３年度中に御嵩町民のうち同会のサービスを利用した人数の比率の数値目標を定め、２０２４年度以降に数値目標を維持する。	KPI を新設				
④	全体研修を年２回以上開催する。	５回	７回			
⑤	２０２５年までパートから正社員への移行人数を毎年３人以上とする。	２名	１名			
⑥	後述の通り、職種別で直近３カ月平均における月間残業時間を維持する（看護職：３時間、コメディカル：４時間、介護：１時間、その他：９時間）	看護：5.8 コメ：6.7 介護：2.9 その他：13.5時間	看護：4.0 コメ：7.3 介護：2.2 その他：12.9時間			

【モニタリング期間中に新設したKPIの進捗状況について】

	KPI	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期
新①	御嵩町民のうち同会のサービスを利用した人数の毎年の比率について 入院：69.0人／日 外来：70.0人／日 デイ：35.0人／日 訪看：25.0人／日 以上としていく。	入院　67.0人／日 外来　65.7人／日 デイ　33.9人／日 訪看　22.3人／日	入院　65.0人／日 外来　65.6人／日 デイ　30.8人／日 訪看　23.8人／日			

中部興業株式会社

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	ＩＳＯ９００１（品質マネジメントシステム）認証を維持していく。	維持	維持	維持		
②	毎年の売上高を１，０００百万円以上とする。	848百万円	1,199百万円	1,353百万円		
③	２０２５年までに「中小企業向けＳＢＴ認証」の取得を目指す。	2023年８月に取得				
④	ＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステム）認証を維持していく。	維持	維持	維持		
⑤	月平均所定外労働時間を１０時間以内とする。（毎年の実績開示）	15時間	10時間	５時間		
⑥	年休取得率（※）を８０％以上とする。（毎年の実績開示） （※）年休取得率＝取得年休日数／付与年休日数	78%	78%	75%		
⑦	ＩＳＯ４５００１（労働安全衛生マネジメントシステム）認証を維持していく。	維持	維持	維持		
⑧	２０２６年までに女性の技術者を現状の１名から５名に増員する。	１名増加 全２名	１名増加 全２名	１名増加 全２名		

天狗罐詰株式会社

	KPI	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
①	２０２８年９月期におけるグループ連結の売上高を１５，０００百万円とする。（２０２３年９月期実績：１２，９７９百万円）	12,690百万円				
②	ＦＳＳＣ２２０００認証（食品安全システム認証）を維持・更新していく。	認証維持				
③	国内２０軒の養鶏農家との契約体制を維持していく。	２０軒				
④	２０３０年におけるＳｃｏｐｅ１，２排出量を２０１３年比で４６％削減する。	Scope1 3354.17t-CO2 10%減				
⑤	全従業員の有給休暇取得率を毎年９０％以上とする。（直近３年間の平均：約８３％）	87%				
⑥	取得対象社員の育児休暇取得率について、毎年１００％を目指す。	88%				

ナガイホールディングス株式会社

	KPI	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
①	２０２３年度までに全拠点・ステーション（テナントビル入居拠点を除く）で使用する電力について、カーボンフリーエネルギーへ移行する。	移行完了（KPI達成）	-			
②	２０３０年度までに電子マニフェスト移行率５０%（２０２１年度実績３４%）を達成する。	37%	39.30%	40.18%		
③	２０３０年度までに電子請求書移行率５０%（２０２１年度実績２８%）を達成する。	35.70%	44.30%	64.10%		
④	２０３０年度までに電子契約書移行率５０%（２０２１年度実績３１%）を達成する。	47.40%	46.60%	44.47%		
⑤	トラックの平均燃費について、４．４８ｋｍ/Ｌ（２０２１年度実績）を維持し毎年ホームページ並びにサステナビリティレポートにて報告する。	4.6km/L	4.37km/L	KPI新①を設定		
⑥	一宮リサイクルセンターのリサイクル率（※）について、毎年９０%以上を維持する。※リサイクル率＝（１－焼却・埋立廃棄物）／搬入された廃棄物	72.5%	63.2%	64.70%		
⑦	２０３０年度までに再生可能エネルギー発電量１，０００，０００ｋｗｈ/年（２０２１年度実績７７８，１８４ｋｗｈ/年）を達成する。	750,412kWh	533,476kwh/年	KPI新②を設定		

⑧	毎年の従業員教育の内容をホームページ並びにサステナビリティレポートにて報告する。	報告済み	報告済み	報告済み		
⑨	２０３０年度までに新卒採用者比率を４０％（２０２２年時点で２０％）にまで引き上げる。	25%	23.8%	33.30%		
⑩	２０２２年度中にＩＳＯ４５００１（労働安全衛生マネジメント規格）認証を取得し、維持する。	取得済み	維持	維持		
⑪	２０３０年度までに労働災害無事故の連続日数３６５日を達成する。	-	-	160 日		
⑫	「あいち女性輝きカンパニー」認証を維持する。	維持	維持	維持		
⑬	「あいち女性輝きカンパニー」認証並びに女性社員比率１５%以上を維持する。	15%	17.2%	15.30%		

【モニタリング期間中に新設した KPI の進捗状況について】

	KPI	2023 年３月期	2024 年３月期	2025 年３月期	2026 年３月期	2027 年３月期
新①	トラックのデジタルタコグラフについて、毎年度の平均点を 90 点以上とする。		86 点	90.95 点		
新②	廃食油の回収量を毎年前年比 15%以上増加させる。		ー	42%増		

南星キャリックス株式会社

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	エコドライブ講習を毎年実施し、実績を開示する。	全７営業所にて実施済み	全７営業所にて実施済み			
②	グリーン経営認証を維持していく。	全７営業所にて 認証維持	全７営業所にて 認証維持			
③	毎年の従業員の資格・免許取得実績を開示する。	運輸：23件 フォークリフト：17件	運輸：20件 フォークリフト：15件			
④	毎年の女性ドライバーの採用実績を開示する。	45名 在籍者数	54名 在籍者数			
⑤	「働きやすい職場認証制度」の認証を維持していく。	二つ星認証 維持	三ツ星認証 獲得			
⑥	安全運転講習を毎年実施し、実績を開示する。	全７営業所にて実施済み	全７営業所にて実施済み			
⑦	「安全性優良事業所」認定を維持していく。	全７営業所にて 認証維持	全７営業所にて 認証維持			

ニチデン精機株式会社

	KPI	2024年５月期	2025年５月期	2026年５月期	2027年５月期	2028年５月期
①	２０３０年における紙使用量を２０２２年比で２０%削減する。	前年度比 50%削減	前年度の使用量を維持			
②	２０２３年から２０３０年までに新たな製品の試作・開発数を累計３０件以上とする。	累計：２件	累計：10件			
③	２０２３年から２０３０年までに新たな製品化件数を累計６件以上とする。	累計：１件	累計：４件			
④	２０３０年まで従業員の残業時間ゼロを維持する。	維持	維持			
⑤	２０３０年まで従業員の有給休暇取得率７０%以上を維持する。	70%以上	70%以上を維持			

株式会社日進建設

	KPI	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期
①	ＩＳＯ９００１（品質マネジメントシステム）認証を維持していく。	維持	維持	維持		
②	毎年の完成工事高を１，０００百万円以上とする。	925百万円	944百万円	1,088百万円		
③	２０２３年度中に温室効果ガス排出量に関する目標を設定する。	目標設定済み	目標設定済み	目標設定済み		
④	ＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステム）認証を維持していく	維持	維持	維持		
⑤	「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業」の登録を維持していく。	維持	維持	維持		
⑥	２０３０年までに新たに３名の１級土木施工監理技術者を輩出する。	取組中	取組中	取組中		

有限会社八開チップ

	KPI	2024年６月期	2025年６月期	2026年６月期	2027年６月期	2028年６月期
①	【八開チップ】 太陽光パネル発電における自社電力利用量について年間２００，０００ｋＷｈ以上を維持する。	213,074kWh	223,020kWh			
②	【八開チップ】 ２０３０年までに各事業所におけるＬＥＤ導入率を１００％とする。	100%	100%			
③	【八開チップ】 廃棄物の再資源化率９５％以上を維持する。	約100%	約100%			
④	【八開チップ】 産廃関連法規違反数０件を維持する。	０件	０件			
⑤	【飯尾園芸】 ２０３０年までに年間の有給休暇５日以上取得の従業員の比率を１００％とする。	100%	100%			

株式会社斫木村

	KPI	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
①	２０２３年度における自社の温室効果ガス排出量（電力部門）９３８，３９５ｋｇ－ＣＯ２（２０１２年度比１４％削減）を目指す。以降は２０３０年まで、自社の温室効果ガス排出量（電力部門）９３８，３９５ｋｇ－ＣＯ２以下の維持を目指す。	71,036 kg-CO2	57,818 kg-CO2	67,306 kg-CO2		
②	２０３０年までに産業廃棄物の再資源化率９９％を目指す。	取組中	97.4%	97.6%		
③	地元公立学校、公共施設、被災地域への寄付の継続実施。	地元公立学校への 寄付を継続実施	地元公立学校への 寄付を継続実施	地元公立学校への 寄付を継続実施		
④	休暇制度の整備など福利厚生を拡充する。	取組中	週休二日制を 導入	週休二日制を 継続中		
⑤	重大労働災害(死亡労働災害)０件を維持する。	０件	０件	０件		

株式会社ビレッジ開発

	KPI	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
①	２０３０年までに健康横丁の開発などビレッジランド開発案件を３０件取り扱う。	調整中	調整中	でんでん村で栽培する「うるつやトマト」の残渣を活用した「無水カレーパン」等を開発。		
②	清掃活動・寄付活動、地元プロスポーツチーム協賛の取組みを継続する。	継続中	継続中	継続中		
③	２０３０年までに宅地建物取引士等、国家取得資格者１００%にする。	１名の宅地建物取引士合格	—	１名の宅地建物取引士合格		
④	パワーハラスメント等の発生件数０件を維持する。	０件	０件	０件		
⑤	電子契約の導入・事務帳票の電子化によるペーパーレスの推進を通じ、２０３０年における紙購入量を２０２１年比５０%削減する。	取組中	取組中	取組中		
⑥	自社管理物件への太陽光パネル搭載件数を拡大する（毎年１件以上）。	取組中	１件	１件		
⑦	２０３０年までに自社所有車両を１００%ＥＶにする。	EV１台購入	取組中	取組中		

福富金属株式会社

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	ＩＳＯ９００１（品質マネジメントシステム）認証を維持・更新していく。	更新済み	更新済み（内部監査、外部監査を通しシステムの有効性を確認）			
②	重大不具合０件・客先流出不良年間１０件以下を維持していく。	重大不具合:0件 客先流出不良:12件	重大不具合:0件 客先流出不良:20件			
③	２０３３年度までに「週休３日制」の勤務形態を導入する。	検討中	検討中（生産現場への展開が課題）			
④	２０２３年度内に男性社員の育児休暇制度を新設する。	導入済み	-			
⑤	２０３０年度における温室効果ガス排出量（Ｓｃｏｐｅ１，２）を２０２１年度比４２%削減する。	-	排出量:432ｔ			
⑥	２０２３年度における自社工場から発生する廃油量を把握し、廃油量削減についての数値目標を設定する。	KPIを新設	-			
⑦	毎年の重大労働災害０件を維持していく。	０件	０件			
⑧	２０２３年度における月平均残業時間を２０２２年度比で２０%削減とする。	30.9%削減	-			

【モニタリング期間中に新設したKPIの進捗状況について】

	KPI	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期
新①	2030年度までに機械油の廃油量を315L以下とする。	350L	390L			
新②	2030年度までに加工油の廃油量を454L以下とする。	504L	594L			
新③	2030年度までに防錆油の廃油量を259L以下とする。	288L	254L			

株式会社フジカ

	KPI	2025年９月期	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
①	２０２６年９月期までに「印刷ネット通販事業」の売上高を８億円とする。（２０２３年９月期実績：２．１億円）（以降の目標は改めて設定する。）	非公開				
②	２０２８年９月期までに営業車の１００％を次世代自動車（ＥＶ車・ＨＶ車）へ切り替える。（２０２４年３月末実績：９０％）	91％				
③	２０２９年９月期までに本社事務所社屋照明の１００％をＬＥＤ化する。	検討中				
④	健康経営優良法人認定を継続して取得する。	取得済				
⑤	健康診断受診率１００％を継続していく。	100％				

株式会社冨士パーライト

	KPI	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期	2027年12月期	2028年12月期
①	２０３０年度までに売上高３０億円以上とする。 （２０２３年１２月期実績：１８億円）	19.9億円	23.8億円			
②	２０３０年度までにドローンを活用した熱損失診断を年間１０件以上実施する。	０件	０件			
③	２０２４年度までにＣＯ２排出量をモニタリングし、削減目標を設定する。併せて削減に向けた施策の策定・実行に取り組む。	SBT認証取得	-			
④	２０３０年度までに営業車の８０％をエコカー（ＥＶ車・ＨＶ車）へ切り替える。	未実施	未実施			
⑤	２０２５年度までにＬＥＤ導入率１００％とする。	一部に蛍光灯あり	99%			
⑥	２０３０年度までに建築施工管理技士の資格取得者を６名増加させる。	当期：０名 累計：０名	当期：２名 累計：３名			
⑦	従業員および協力会社に対して新規に安全講習会および技術講習会を年１回以上開催する。	2024年９月に開催	2025年９月に開催			
⑧	２０２５年度までに従業員安否確認システムを新規に導入し、同システムを活用した防災訓練を実施する。（年１回以上の実施）	2024年６月にシステム導入 2024年10月に防災訓練実	システム導入済、運用中 最適解な運用を模索中			

		施				

【モニタリング期間中に新設したKPIの進捗状況について】

	KPI	2024年12月期	2025年12月期	2026年12月期	2027年12月期	2028年12月期
新①	Scope1,2排出量について2030年度までに2023年度比で42%削減する。 (2023年度：325.07t-CO2)		347.69 t-CO2			

株式会社フロウ

	KPI	2024年２月期	2025年２月期	2026年２月期	2027年２月期	2028年２月期
①	新たなリサイクル材が含まれた商材の利用に引き続き取り組む（毎年の取組みの開示）。	継続中	継続中	継続中		
②	雨水タンクの設置目標を年間１０件以上とする。	３件	６件	６件		
③	外構工事部門の売上高を維持しつつ２０２７年までに全売上高に占める音楽部門の比率を２９．７%以上まで高める。	13%（37,000千円）	10.6%（39,734千円）	8.3%（31,812千円）		
④	オンラインライブを年５回以上開催する。	YouTube12回、Instagram60回開催	YouTube12回、Instagram毎週１回開催	Youtube12回、Instagram毎週１回開催		
⑤	地域に密着した新たなサービスの展開に取り組む（毎年の取組みの開示）。	地域イベントに音楽ステージの創出を実現（６回開催）	地域イベントに音楽ステージの創出を実現（６回開催）	自社でギターおよびドラムスクールを運営し、生徒を対象とした発表会を定期的に開催している。		
⑥	外構リフォームに取り組み、まちづくりに貢献する（毎年の取組みの開示）。	各家庭のニーズにあった外構作りを実施。	各家庭のニーズにあった外構作りを実施。	管理が困難となった庭園の有効活用を提案。		
⑦	離職率ゼロを維持する。	0%を維持	２名退職	0%		

			（当社から独立）			
⑧	育休取得率１００％を維持する。	100％を維持（2/2 名）	－（該当者なし）	－（該当者なし）		

北星工業株式会社

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	２０３０年までに、ＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステム）認証を取得する。	未済	未済	未済		
②	２０３０年までにペーパーレスＦＡＸを導入する。	対応済				
③	２０３５年度における売上高当たりの電気使用量を２０２１年度比で２０%削減する（毎年の実績の開示）。	売上：88百円 使用量：77,074kwh/㎡ ÷①）：875	売上：126百万円 使用量：107,277kwh/㎡ （②÷①）：851	売上：102百万円 使用量：90,704kwh/㎡ （②÷①）：885		
④	２０３０年までに、ＩＳＯ９００１（品質マネジメントシステム）認証を取得する。	未済	未済	未済		
⑤	年間１件以上「セミナー」「技術講習会」「新商品発表会」のいずれかに従業員を派遣する。	「技術講習会」２件、「新商品発表会」３件	「技術講習会」３件 「新商品発表会」５件	「技術講習会」３件 「新商品発表会」３件		
⑥	２０２５年までに自社敷地内に従業員の休憩スペースを新たに整備する。	第２工場１階に休憩スペース設置	対応済			

株式会社北斗

	KPI	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期	2028年３月期
①	２０３０年までに営業車（作業車除く）のうち５０%をエコカー（ＨＶ車・ＥＶ車）とする。	26%	26%	26%		
②	外構工事によって生じる廃棄物を引き続き適切に処理する。	継続中	継続中	継続中		
③	２０３０年における紙購入量を２０２１年度比５０%削減する。	-	-	-		
④	２０３０年までに介護施設を１０カ所以上とする。	６施設	７施設	９施設		
⑤	２０３０年までに介護施設における定員数の合計を３００名以上とする。	190名	240名	263名		
⑥	２０３０年までに介護事業部の売上高を２５億円以上とする。	13億円	17億円	21億円		
⑦	２０３０年までに介護事業部における従業員を３００人以上とする。	200名	250名	270名		
⑧	２０３０年における介護事業部の離職率を１０%以下とする。	9%	11%	13%		
⑨	２０３０年までに年間休日を１１０日以上とする。	110日	110日	110日		
⑩	女性管理職の比率について５０%以上を維持する。	70%	70%	70%		

柳原商運株式会社

	KPI	2025年８月期	2026年８月期	2027年８月期	2028年８月期	2029年８月期
①	２０３０年度において食品部門以外の売上を減少させることなく、全体に占める食品部門の売上比率を９０％以上とする。 （２０２３年８月期実績：売上高２３８百万円、うち食品部門の売上比率：７０％）	75%				
②	２０３０年８月期までに自社トラックのうち低炭素型ディーゼルトラックの比率を４０％以上とする。	取組中				
③	デジタルタコグラフ（デジタル式運行記録計）の評価点数について、２０３０年８月期までに全ドライバー平均で９８点以上とする。	91 点				
④	２０３０年８月期までに従業員平均の有給休暇取得率を８０％以上とする。 （２０２３年８月期実績：５０％）	55%				
⑤	２０３０年８月期までに女性ドライバーを２名以上増加させる。 （２０２４年６月末実績：１名）	２名(1 名増加)				

株式会社ヤマカ木材

	KPI	2025年４月期	2026年４月期	2027年４月期	2028年４月期	2029年４月期
①	２０２８年４月期までに全社売上高を７５億円以上とする。 以降については、改めて目標を設定する。 （２０２４年４月期実績：５５．６億円）〃	51.9億円				
②	WOODSPACE（店舗・事務所建築の専門ブランド）の売上高を２０２８年４月期までに７．５億円以上とする。 以降については、改めて目標を設定する。 （２０２４年４月期実績：６億円）	1.1億円				
③	２０２８年４月期までに、年間建築住宅におけるＺＥＨ基準住宅比率を９０％以上とする。 以降については、改めて目標を設定する。 （２０２４年４月期実績：６７％）	ZEH基準相当では100%を達成している。				
④	２０３０年度（２０３０年４月～２０３１年３月）までに、Ｓｃｏｐｅ１，２排出量を２０２３年度比で４２％以上削減させる。 （２０２３年度実績：４７７．２５ｔ－ＣＯ２）	社用車をより燃費性能の高いハイブリッド車輌を10台導入した。また排出ガス低減に向けた木造建築の販路を拡大中。				
⑤	２０２８年４月期までに従業員の月間平均時間外労働時間を１０時間以下とする。	19.6時間				

	以降については、改めて目標を設定する。 （２０２４年４月期実績：２０時間）					
⑥	２０２８年４月期までに２０２４年４月時点から比較して、建築士２級以上取得者５名以上、宅建士取得者５名以上、インテリアコーディネーター３名以上、施工管理技士５名以上増加させる。 以降については、改めて目標を設定する。 （２０２４年４月時点：建築士２級以上取得者１４名、宅建士取得者１１名、インテリアコーディネーター３名、施工管理技士５名）					
⑦	２０２８年４月期までに女性従業員比率を３５％以上とする。 以降については、改めて目標を設定する。 （２０２４年４月時点：２７％）					
⑧	２０２８年４月期までに２０２４年４月時点から比較して、女性管理職を３名以上増員する。 以降については、改めて目標を設定する。 （２０２４年４月時点：全管理職１３名のうち女性管理職１名）					

ヤマノウチ物産株式会社

	KPI	2025年４月期	2026年４月期	2027年４月期	2028年４月期	2029年４月期
①	２０２７年４月期までに「シャッター点検業務」を事業化する。	事業化実現				
②	２０２７年４月期までに「アルミニウム溶接技能士」を新たに２名輩出する。（２０２４年３月時点で４名）	５名(1名増)				
③	２０３０年４月期までに製造部門の売上高を２０２３年４月期より１０％拡大する。（２０２３年４月期：２８８百万円）	292百万円				
④	２０３０年４月期までに「施設内訪問看護事業」の売上高を２０２３年４月期より２０％拡大する。（直近実績については非開示）	未達成				
⑤	２０３０年４月期までに自社介護施設（「もりの里本館・新館」、「フローラ島Ⅰ・Ⅱ」）に計４台蓄電池を導入する。	未達成				
⑥	【製造部門】毎年の労働災害発生件数０件を達成し、継続していく。	１件				
⑦	【介護部門】２０２７年４月期までに、介護や育児などを理由に退職した従業員が再度同社グループに就職できる制度（ジョブリターン制度）を導入する。※目標達成時期到来後は新たなＫＰＩを設定予定	未達成				

ユーエスウラサキ株式会社

	KPI	2025年４月期	2026年４月期	2027年４月期	2028年４月期	2029年４月期
①	２０２７年における産業用集塵機の売上高を３億円とする。 （２０２３年：１．８億円）（以降については改めて目標を設定）	2.6億円				
②	２０２５年を目安として「ＣＥマーキング認証」を取得する	同認証取得に向け対応中。R7年度内には取得見込。				
③	Ｓｃｏｐｅ１およびＳｃｏｐｅ２について、２０３０年までに２０２１年を基準として同年比４２．０％削減する	24.7%削減				
④	２０２６年までにＩＳＯ１４００１認証（環境マネジメントシステム）を取得し、以降は認証を維持・継続する）	同認証取得に向け対応中。R7年10月に事前審査を受ける予定。				
⑤	２０２６年までに「健康経営優良法人」認定を取得し、以降は認定を維持・継続する。	同認証取得に向け対応中。				

株式会社有電

	KPI	2024年８月期	2025年８月期	2026年８月期	2027年８月期	2028年８月期
①	２０３０年８月期における紙使用量を２０２３年８月期比で２０％削減する。	-	前年比１%削減			
②	建設用工具など環境に配慮した省エネルギー設備を導入する。（毎年の取組みの開示）	-	-			
③	２０３０年８月期までに売上高１０億円以上とする。（２０２３年８月期実績：６．３億円）	9.1 億円	9.5 億円			
④	停電時のバックアップ用電源として活用可能なＶ２Ｈ（Ｖｅｈｉｃｌｅ ｔｏＨｏｍｅ）システムの実用化など、災害時電力事業に取り組む。（毎年の情報の開示）	災害時電力事業施工実績１件	-			
⑤	地域のイベントにおける電気設備の設営などを通じ、年間１０回以上運営に関わる。	約 20 回	約 10 回			
⑥	２０２４年度までに健康経営優良法人の認定を取得し、２０２５年度以降も認定継続を目指す。	認定申請中	認定取得			
⑦	従業員に対して技術練習会および国家資格取得に向けた勉強会を年間４回以上実施する。	年４回実施	年２回実施			
⑧	入社１年目の社員における第二種電気工事士の取得率を毎年度８０％以上とする。	100%	新入社員の採用無し			

以　上